

シンポジウム

# 諸宗教の死生観と看取りの実践

2017年10月7日(土) 14:40-17:50 司会 渡辺和子 東洋英和女学院大学教授 死生学研究所所長

## 発題1 高瀬 顕功 たかせ けんこう

## 浄土宗の死生観と死者供養

大正大学地域構想研究所BSR推進センター助教

### プロフィール

大正大学地域構想研究所BSR(仏教者の社会的責任)推進センター助教。浄土宗法源寺副住職。立命館大学文学部卒業、大正大学大学院文学研究科宗教学専攻博士後期課程満期退学、ペンシルベニア大学客員研究員、上智大学グリーフケア研究所研究員などを経て現職。博士(文学)。専門は宗教学、宗教社会学。宗教の社会参加をテーマに研究を行ってきた。僧侶として社会活動にも取り組む。現在、僧侶による路上生活者支援団体「ひとさじの会」代表。

### 主要業績

『「ホーム」を失って生きる』竹之内裕ほか編『喪失とともに生きる—対話する死生学』ポラノ出版、2016。「独立性モデルによるFBOの類型」『宗教と社会貢献』5(2)、2015。「アメリカの宗教動向とソーシャルプログラム—ペンシルベニア州フィラデルフィア市を事例として」『大正大学宗教学年報』(28)、2013。

### 内容紹介:

東京・山谷で路上生活者支援を行うひとさじの会は、元・路上生活者の「お墓がほしい」という声から活動を始めました。今を生きることに精いっぱいなはずの人々が、死後の安寧を願う——ひょっとすると、おかしな話に聞こえるかもしれませんが、これは宗教の個人化・私事化が進む現代にあっても、大きな物語が必要とされていることを示す事例のように思います。浄土宗の死生観を通じ、伝統仏教教団のもつ大きな物語が現代社会でいかなる役割を果たしているのか考えてみたいと思います。

## 発題2 奥原 幹雄 おくはら みきお

## 金光教の死生観—生きても死にても天地は住家

金光教気仙沼教会副教会長

### プロフィール

金光教気仙沼教会副教会長、臨床宗教師(東北大学実践宗教学寄附講座4期修了)、北海道東北臨床宗教師会理事、金光ボランティア会事務局、ドリームキャンプ実行委員長。東洋大学社会学部卒業後、広告会社を経て2013年金光教教師拝命。教会御用のかたわら、臨床宗教師として活動。東日本大震災の被災者支援活動に従事する。現在も被災者支援、被災地の子どもへのケアを目的としたキャンプ、子ども食堂などに取り組んでいる。

### 内容紹介:

金光教祖は幼少期から信仰心に篤く、神仏を敬い、実意丁寧な生き方をされました。子どもや家畜などを次々に亡くし、自身も42歳で九死一生といわれる大病に罹り、生死の境をさまよなかで神の本当の心を悟り、そこから神と人が共に助かる道が開かれました。現代人にとって「死」は、暗闇に降りて行くようなものと言われますが、天地の道理を説く金光教は、その信心によって「安心」という生死を通じて広大無辺のおかげが頂ける道を説いています。金光教の「生きても死にても天地は住家」という世界を共に考えてみたいと思います。

## 発題3 山田 弘子 やまだ ひろこ

## 人間を魂としてみる死生観に基づき葬制と看取り

GLA理事 東京本部担当

(実践報告)医療現場での取り組み

(実践報告) 井口清吾 (上尾中央第二病院副院長兼ホスピス病棟長)

### プロフィール

山田弘子: GLA理事・講師。GLAの全国8本部で最大規模を擁する東京本部を統括するかたわら、伝道研鑽部員(GLAの中核を支えるスタッフ)や次世代を担う青年塾生(35歳以下の会員)の指導、育成にあたっている。

井口清吾: 1979年、名古屋市立大学医学部卒。いくつかの市中病院勤務を経て2013年から現職。専門は、終末期医療、スピリチュアルケア。「魂の学に拠る終末期医療の実践」をライフワークとしている。

### 内容紹介:

人は、この世限りの存在で、死んだら終わりなののでしょうか。あなたの愛する人も、死んだらすべて消えてしまうのでしょうか——。GLAでは、人間は肉体だけの存在ではなく、その本質は魂であり、魂はこの世とあの世を永遠に生き通し、成長し続けると考えます。そのような人間観のもとでは、葬儀や供養のあり方、そして人生の終末期の迎え方も、従来とは一線を画すものとなります。ぜひ「魂」を根底に据えた葬儀や供養、終末期の看取りの実践について、ご報告したいと思います。

□シンポジウム会場  
東洋英和女学院大学大学院  
(六本木) 201教室  
東京都港区六本木5-14-40  
shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

□最寄駅 六本木駅(日比谷線徒歩10分)  
麻布十番駅(大江戸線徒歩5分、南北線徒歩7分)  
□参加費1,000円(本学院在校生・教職員無料)  
□当日先着順100名様 □事前申込み不要

〈予告〉 2018年 1月13日(土) 受付開始14:10  
東洋英和女学院大学死生学研究所〈公開〉連続講座「生と死の物語」

第9回 大林雅之「死に向かう生と性—老成学の視点から—」  
第10回 奥野滋子「終末期医療と看取りのいま」